

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO P
SQD-1X

取扱説明書

保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

- 電波時計（国内2局対応）
福島県「おたかどや山標準電波送信所」(40kHz)
佐賀県と福岡県の境「かね山標準電波送信所」(60kHz)
- 正確な時刻と月日を表示
- 一度止めても再び鳴り出すスヌーズアラーム
- 音声で時刻報知（現在時刻/アラーム/時報）

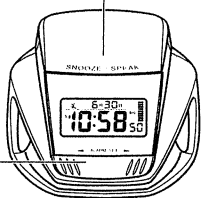
製品仕様

水晶発振周波数：32.768Hz
表示内容：現在時刻＝時・分・秒、午後マーク／
24時間制表示(24H)／
月・日／アラーム時刻＝時・分
電波受信機能：自動受信(毎時1分*)、手動受信
*条件により毎時1分と31分
〔受信電波＝長波標準電波 JJY〕
周波数＝40kHz/60kHz
精度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、月差±30秒以内
アラーム機能：セット単位＝分 報知時間＝約1分間
通常アラーム、スヌーズアラーム(全7回)
時刻報知機能：現在時刻を音声で報知
時報機能：正時に時刻を音声で報知
その他：12/24時間制表示切替、音量調整
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI
使用温度：0～40℃
使用電池：単3形アルカリ乾電池(LR6)×2
電池寿命：約1年
〔アラーム1分間、日、時刻報知機能2回、日、時報報知18回、日、電波受信24回/日使用した場合〕
※付属のモニター用電池は「マンガン乾電池」です。「マンガン乾電池」を使用した場合、電池寿命は約5ヶ月となります。
※新しい電池に交換する際は「アルカリ乾電池」を使用することを必ずおすすめてください。

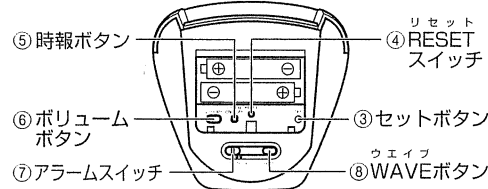
カシオ計算機株式会社
PRINTED IN CHINA MA0111-A
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2 ☎03-5334-4111(代表)
※住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

各部の名称と表示の見方

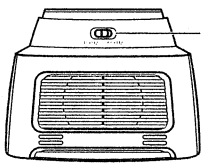
(表面) ①スヌーズ/スピークボタン



(底面、電池ボタンを開けたところ)



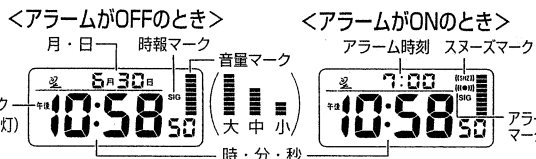
(裏面)



- ①スヌーズ/スピークボタン
押しと現在時刻を音声で知らせます。
※アラーム報知中に押しと音声は止まり、現在時刻を音声で知らせます。
- ②アラーム時刻セットボタン
アラーム時刻(または現在時刻など)を合わせるときに使います。
- ③セットボタン
現在時刻などを合わせるときに使います。
- ④RESETスイッチ
電池交換後、必ず押します。
- ⑤時報ボタン
時報ON/OFFの切り替えができます。
- ⑥ボリュームボタン
押しと音声の音量を3段階(大、中、小)で調整できます。
- ⑦アラームスイッチ
アラームON/OFF/スヌーズの切り替えができます。
- ⑧WAVEボタン
押しと電波受信を行ないます(手動受信)。
- ⑨受信電波切替スイッチ
受信する電波を選ぶことができます(40kHz⇔60kHz)。

★表示の見方

※本機はデジタル表示部に「展示用シール」をつけて出荷していますので、ご使用前に必ずこの「展示用シール」を取り外してください。



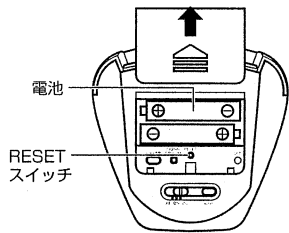
電源について

- 本機は単3形乾電池を2本使用します。
- 乾電池はできるだけ「カシオ指定の電池」または同等品をご使用ください。
- 時計をご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消費を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

電池交換のしかた

- 電池ボタンを開け、古い電池を取り出します。
- 新しい電池の⊕と⊖を間違えないように完全に押し込みます。
- 電池交換後 RESET スイッチを押します。
- 電池ボタンを閉じます。



<ご注意>

- 電池の⊕と⊖の向きは正しく入れてください。
- 電池が消耗すると表示が「薄くなった」「消えたり」します。このようなときは長時間放置せず、すみやかに新しい電池と交換してください。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池のため、記載の電池寿命よりかなり短いものとなっています。新しい電池に交換する際は「アルカリ乾電池」を使用することを必ずおすすめてください。
*モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずすぐにふきとってください。
- ※電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

- ⚡ △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。
- 🚫 ⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。
- 🔌 ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさけてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことはお避けください。
・テレビの上など(テレビ画面に色むらが起こる場合があります)
・時計、キャッシュカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど

- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か、「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクニク・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

本機の使い方

本機ご購入後初めて使用する時、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。
 ※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

1 電池を入れます (「■電池交換のしかた」参照)

本機底面の電池カバーを開き、⊕⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。

2 受信する電波を選びます (「●電波の受信範囲の目安」参照)

受信電波切替スイッチをスライドさせて、受信する電波を選びます。
 ※本機をお使いになる場所に合わせて選んでください。
 “40kHz” … 福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」からの電波(40kHz)を受信します。
 “60kHz” … 佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」からの電波(60kHz)を受信します。

3 RESET スイッチを押します (リセット操作)

本機底面の RESET スイッチを押します。
 →時刻表示が「午後 12:00」となります。
 ※電池交換を行なったあとは、必ず RESET スイッチを押してください。
 ※リセット操作が終わったら電池カバーを閉じます。

4 本機を使用したい場所に置きます

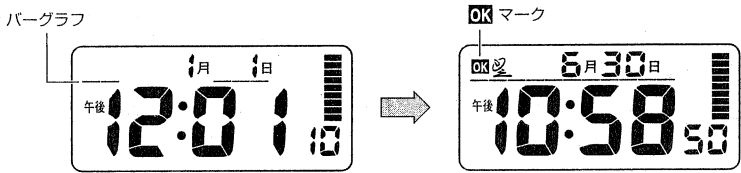
「午後 12:01」になると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないますので、窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。
 ※受信中はバーグラフが左から右に流れて表示されます。
 ※受信成功まで約9~14分かかります。

<ご注意>

受信中はボタン操作を行なわないでください。電波受信中は音量切替、アラーム時刻合わせ、時報ON/OFF設定をすることができません。このようなときは、WAVE ボタンを押して電波受信を止めてから操作を行なってください。

受信成功

☑ が点灯して数字がぐるぐる回り、「月」「日」「時」「分」「秒」の順番で正しい時刻を表示します。時刻表示完了後、約3秒間OKマークが点滅します。
 ※受信成功後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。
 ※場合により「時」「分」「秒」のみ表示することがありますが、その後受信成功すれば、「月」「日」も正しく表示されます。



受信できない

約14分後に受信は止まります。
 ※このときは、本体の向きや置き場所を変えて WAVE ボタンを押すか、セットボタンで時刻を合わせてから WAVE ボタンを押して、もう一度受信開始させてください (「時刻の合わせ方」参照)。
 ● 手動受信… WAVE ボタンを押すと電波受信を開始します。
 ※ WAVE ボタンを押さなくても「午後 12:31」になると、再び自動受信を開始します。以後、受信成功するまで30分毎に自動受信を行ないます (最大36時間)。
 ● 置き場所を変えても受信できない場合は、受信電波(周波数)を切り替えてから、もう一度受信開始させてください。
 ※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

受信できない場合でも、翌日に電波受信成功することもありますのでしばらくそのままにしておいてください。

5 1~2週間電波受信の様子を見ます

本機は、通常毎時1分(1日24回)に電波受信を自動的に行ないます。

☑ が常に点灯している、または点灯しているときが多い



電波受信は良好

そのまま、その場所でお使いになれます。

☑ がまったく点灯しない、または時々しか点灯しない



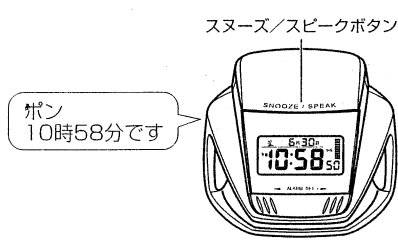
電波受信しづらい

その場所では電波受信しづらいので、置き場所を変えてください。その場所で使用するときは、ときどき受信可能な別の場所で電波受信を行なってください。

時刻報知機能の使い方

スヌーズ/スピークボタンを押すと、現在時刻を音声で知らせます。

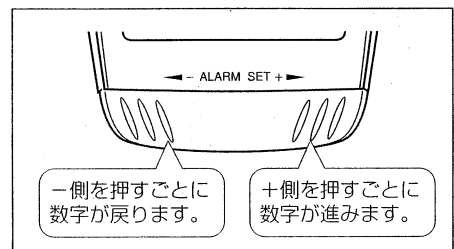
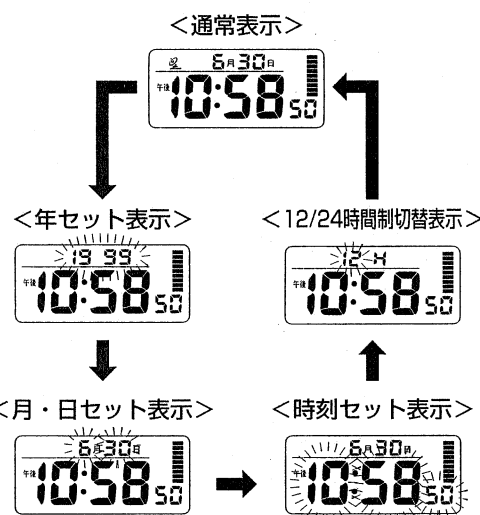
※時刻報知中にスヌーズ/スピークボタンをもう一度押すと、音声が止まります。



時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。
 以下の操作で時刻を修正すると、修正後24時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

- (1) 本機底面(電池カバー内)のセットボタンを押すごとに以下の順に点滅する表示が切り替わります。
- (2) アラーム時刻セットボタンを使って、現在時刻などを合わせることができます。

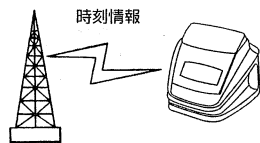


※それぞれ押し続けると早送り/戻しができます。
 ★年は1998年~2039年までセットできます。
 ★<時刻セット表示>のときはボタンを押して分を進めた(戻した)タイミングで00秒になります。
 ★<12/24時間制切替表示>のときはボタンを押すごとに、12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。
 (3) セットが終わりましたら、セットボタンを押して<通常表示>に戻します。
 ※セット状態で表示を点滅したままにしておくと、約3分後自動的に<通常表示>に戻ります。

電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]をのせた長波標準電波(JJY)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



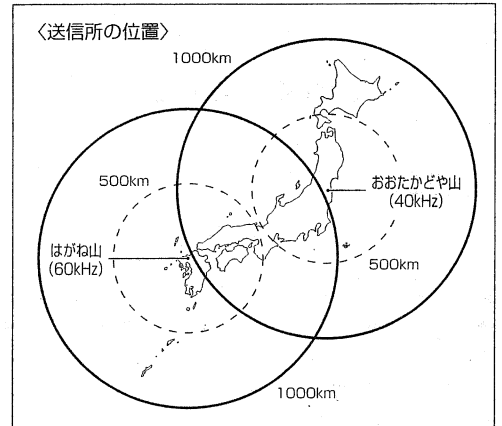
日本標準時: 日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

●標準電波

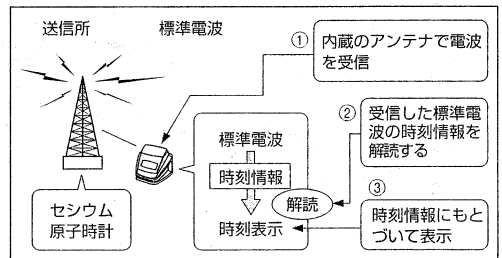
標準電波は独立行政法人通信総合研究所(CRL)が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz)および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」(60kHz)から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

●電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。
 ※ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなる場合があります。
 また、受信範囲内であっても、季節や天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響などによって、受信できないことがあります。



●受信のしくみ



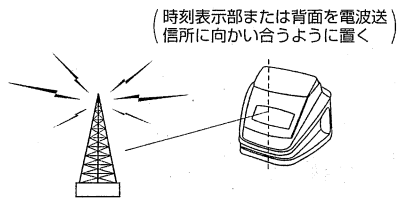
●電波受信について

本機は、通常毎時1分に電波受信を自動的に行ないます(条件により毎時1分と31分に行ないます)。
 ※1回の受信は約4~14分間(リセット直後は約9~14分間)です。
 ※受信に成功すると、数字がぐるぐる回り、「月」「日」「時」「分」「秒」の順番で正しい時刻を表示します。時刻表示完了後、約3秒間OKマークが点滅します。
 受信成功しますと、☑ マークが点灯続きます。☑ マークは電波受信が成功しているかどうかの目安になります。ただし、受信成功していても午前2時と午前3時になりまると一度消えます。その後受信成功すると、再び点灯続きます。

<正しく受信するために>

- 電波受信できる場所に置いてください(「●使用場所について」参照)。
- 本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります(本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるように置くと、最も受信しやすくなります)。

最も受信しやすい置き方



- 受信中(バーグラフ表示中)にボタン操作をしないでください。なお、受信中にWAVEボタンを押すと、受信を中断します。

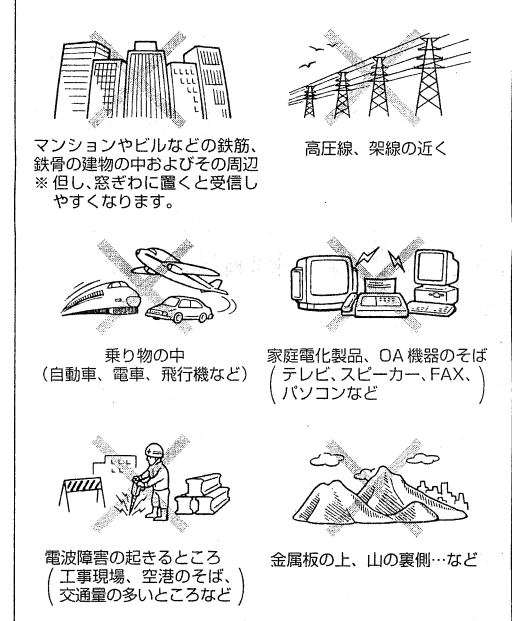
<ご注意>

- 時刻セットボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間にWAVEボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。
- アラームONでアラーム時刻を設定している時刻台での自動受信は行ないません(例:アラーム時刻=午前7時15分のとき、午前7時1分の自動受信は行ないません)。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。
- 電波受信を行なわない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などに置くようにしてください。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

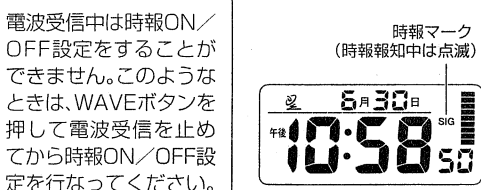


時報の使い方

正時(00分)になると音声で時刻を知らせます。
 ※時報ONで、アラームスイッチが「OFF」のときに、午前7時~午前12時の間、時報が鳴ります(アラームON設定にしているときは時報は鳴りません)。

●時報ON/OFF設定

本機底面(電池カバー内)の時報ボタンを押すごとに、時報ON/OFFが切り替わります。
 →「SIG」マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。



アラームの使い方

あらかじめ設定した時刻になると、アラーム報知を行ないます。アラーム報知は「鳥のさえずり(約20秒)⇒現在時刻報知⇒鳥のさえずり(約15秒)⇒現在時刻報知⇒電子音」の順に約1分間行ないます。なお、アラームスイッチの位置により、止めても繰り返し鳴るスヌーズアラームとして使うことができます。

●アラーム時刻の合わせ方

アラーム時刻セットボタンを使って、アラーム時刻を合わせることができます。
 電波受信中はアラーム時刻を合わせることはできません。このようなときは、WAVEボタンを押して電波受信を止めてからアラーム時刻合わせを行なってください。

●アラームのON/OFF設定

本機底面のアラームスイッチの位置でアラームON/OFF/スヌーズが選べます。

アラームスイッチ	鳴り方
SNZ (●●●)	アラームセット時刻になると、約1分間アラーム報知を行ない、5分おきに7回報音を繰り返します。なお、スヌーズ/スピークボタンを押して音を止めても、再び鳴りだすスヌーズアラームです。 ※「SNZ」マークが点滅しているときは、再びアラーム報知を行ないます(スヌーズアラーム機能中)。
ON (●●●)	アラームセット時刻になると、約1分間アラーム報知を行ないます。
OFF	アラームセット時刻になってもアラーム報知は行ないません。

●鳴っているアラーム音を止めるには

- スヌーズ/スピークボタンを押すと音が止まり、現在時刻を音声で知らせます(スヌーズアラームのときは再び鳴ります)。
- スヌーズアラーム機能を解除するには、アラームスイッチを「OFF」にします。